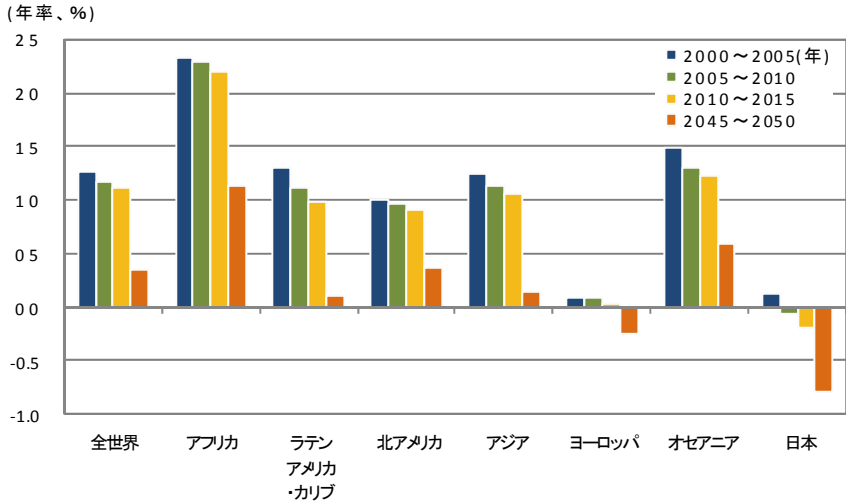


2 人口・労働力人口

2-2 人口増加率



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第2-2表 人口増加率」(p.60)を参照。

国連の2008年版世界人口予測によると、全世界の人口は、2000年の61億人から2005年には65億人(年率1.26%)、その後2010年までに69億人(年率1.18%)、さらに2050年までには91億人と、2005年からの45年間で約26億人の増加が推計(中位推計)されている。2006年版世界人口予測では、2050年の世界人口の中位推計は92億人であったが、今回の推計では4千万人ほど少ない予測となっている。

上のグラフをみると、ヨーロッパ地域及び日本の2000年から2005年の人口増加率は各々0.08%、0.12%と低水準で、2005年以降はマイナスに転じ、2045年～2050年には各々-0.26%、-0.79%へと落ち込む見込みである。他方、アジア地域及び中南米地域については、増加率は低下するものの、2010年までは1%を上回る水準で推移する予測となっている。しかしながら、これらの地域の少子化のスピードが先進地域よりも急速であることから、2050年までには増加率は各々0.15%、0.1%へと落ち込む予測となっている。今後2050年までに最も人口増加率が高い地域はアフリカ地域で、2015年までは年率2%を上回り、2045年以降も1%を上回る水準で推移する見通しである。